

平成23年9月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成23年8月8日

上場会社名 株式会社シイエム・シイ 上場取引所 大  
 コード番号 2185 URL <http://www.cmc.co.jp/>  
 代表者 (役職名)代表取締役社長 (氏名)龍山真澄  
 問合せ先責任者 (役職名)取締役管理本部長 (氏名)成田克己 TEL (052) 322-3351  
 四半期報告書提出予定日 平成23年8月8日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成23年9月期第3四半期の連結業績(平成22年10月1日～平成23年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
23年9月期第3四半期	8,062	5.9	31	△95.5	70	△90.4	△40	—
22年9月期第3四半期	7,611	△17.6	690	△41.6	727	△38.9	304	△58.2

	1株当たり 四半期純利益		潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益	
	円	銭	円	銭
23年9月期第3四半期	△18	26	—	—
22年9月期第3四半期	135	65	134	79

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率		1株当たり純資産	
	百万円		百万円		%		円 銭	
23年9月期第3四半期	10,546		7,795		73.9		3,474 67	
22年9月期	10,238		7,942		77.6		3,540 36	

(参考) 自己資本 23年9月期第3四半期 7,795百万円 22年9月期 7,942百万円

2. 配当の状況

	年間配当金								
	第1四半期末		第2四半期末		第3四半期末	期末	合計		
	円	銭	円	銭	円	銭	円	銭	
22年9月期	—	0	—	0	—	60	00	60	00
23年9月期	—	0	—	0	—	60	00	60	00
23年9月期(予想)	—	0	—	0	—	60	00	60	00

(注) 当四半期における配当予想の修正有無 : 無

3. 平成23年9月期の連結業績予想(平成22年10月1日～平成23年9月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円	銭
通期	13,236	16.6	846	△28.9	888	△28.7	416	△29.2	185	84

(注) 当四半期における業績予想の修正有無 : 無

4. その他（詳細は、【添付資料】4ページ「その他の情報」をご覧ください。）

(1) 当四半期中における重要な子会社の異動 : 無

(注) 当四半期会計期間における連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動の有無となります。

(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の適用 : 有

(注) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用の有無となります。

(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

① 会計基準等の改正に伴う変更 : 有

② ①以外の変更 : 無

(注) 「四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更」に記載される四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の有無となります。

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）

23年9月期3Q	2,243,600株	22年9月期	2,243,600株
23年9月期3Q	128株	22年9月期	70株
23年9月期3Q	2,243,507株	22年9月期3Q	2,243,600株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数（四半期累計）

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

- ・この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であります。なお、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は終了しております。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

- ・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信（添付資料）3ページ「連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. その他の情報	4
(1) 重要な子会社の異動の概要	4
(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要	4
(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要	4
(4) 継続企業の前提に関する重要事象等の概要	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書	7
【第3四半期連結累計期間】	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 継続企業の前提に関する注記	9
(5) セグメント情報等	9
(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	10

## 1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報

## (1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、緩やかな回復基調にあったものの、東日本大震災の影響により厳しい状況に陥りました。現在は、サプライチェーンの立て直し、生産活動の回復にともない、景気の持ち直しが期待されております。しかしながら、電力供給の制約や原子力災害及び原油高の影響等により、景気が下振れするリスクは依然として存在しております。

このような経済環境のもと、当第3四半期連結累計期間の連結売上高は、8,062百万円(前年同期間比451百万円増、同5.9%増)、営業利益は31百万円(前年同期間比659百万円減、同95.5%減)、経常利益は70百万円(前年同期間比656百万円減、同90.4%減)、四半期純損失は40百万円(前年同期間は四半期純利益304百万円)となりました。

これをセグメント別に見ますと、次のとおりであります。

## (マーケティング事業)

インターナル・マーケティングは、国内及び海外における自動車の商品教育案件、業務効率化システム構築案件の増加により、売上高は1,188百万円(前年同期間比326百万円増、同37.8%増)となりました。

エクスターナル・マーケティングは、広報関連案件の売上が若干減少し、売上高は570百万円(前年同期間比12百万円減、同2.2%減)となりました。

カスタマーサポート・マーケティングは、震災の影響による自動車の使用説明書の納期変更、修理書の減少などがあったものの、丸星株式会社の増加分により、売上高は4,133百万円(前年同期間比221百万円増、同5.7%増)となりました。

トータルプリンティングは、使用説明書や修理書の減少により、売上高は1,001百万円(前年同期間比51百万円減、同4.9%減)となりました。

その他は、主要顧客のマーケティング活動推進のために経営しておりますコンビニエンス店舗売上を中心に、売上高は146百万円(前年同期間比3百万円減、同2.2%減)となりました。

これらの結果、マーケティング事業の売上高は7,040百万円(前年同期間比480百万円増、同7.3%増)、営業利益は104百万円(前年同期間比552百万円減、同84.1%減)となりました。

## (システム開発事業)

システム開発事業は、主要クライアント向けのソフトウェア受託開発が減少し、売上高は1,022百万円(前年同期間比28百万円減、同2.7%減)となりました。営業利益は18百万円(前年同期間比8百万円減、同29.9%減)となりました。

## (2) 連結財政状態に関する定性的情報

当第3四半期連結会計期間末における総資産は、10,546百万円となり、前連結会計年度末より307百万円の増加となりました。これは主として、現金及び預金の減少1,856百万円があったものの、のれんの増加1,191百万円、たな卸資産の増加484百万円、投資その他の資産のその他の増加284百万円によるものであります。

なお純資産は7,795百万円となり、自己資本比率は73.9%と前連結会計年度末と比べ3.7ポイント減少しております。

(キャッシュ・フローの状況)

当第3四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物は、前連結会計年度末に比べ1,856百万円減少し、1,893百万円(前連結会計年度末3,750百万円)となりました。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動によるキャッシュ・フローは149百万円の収入(前年第3四半期連結累計期間250百万円の収入)となりました。これは主として、法人税等の支払額532百万円があったものの、売上債権の減少769百万円によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動によるキャッシュ・フローは1,122百万円の支出(前年同期間145百万円の支出)となりました。これは主として、連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出1,243百万円によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動によるキャッシュ・フローは894百万円の支出(前年同期間89百万円の支出)となりました。これは主として、長期借入金の返済による支出758百万円によるものであります。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

連結業績予想につきましては、平成23年5月9日付の「平成23年9月期 第2四半期決算短信」にて発表しました業績予想の変更はありません。

## 2. その他の情報

### (1) 重要な子会社の異動の概要(連結の範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

該当事項はありません。

### (2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要

#### ①簡便な会計処理

重要性が乏しいため、記載を省略しております。

#### ②特有の会計処理

該当事項はありません。

### (3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要

#### ①会計処理基準に関する事項の変更

(「資産除去債務に関する会計基準」等の適用)

第1四半期連結会計期間より、「資産除去債務に関する会計基準」(企業会計基準第18号 平成20年3月31日)及び「資産除去債務に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第21号 平成20年3月31日)を適用しております。

この変更により、損益に与える影響は軽微であります。

#### ②表示方法の変更

(四半期連結損益計算書関係)

- a 前第3四半期連結累計期間において、営業外収益の「その他」に含めて表示しておりました「補助金収入」は、営業外収益の総額の100分の20を超えたため、区分掲記しております。なお、前第3四半期連結累計期間の営業外収益の「その他」に含まれる「補助金収入」は2,550千円であります。
- b 「連結財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第22号 平成20年12月26日)に基づく「財務諸表等の用語、様式及び作成方法に関する規則等」の一部を改正する内閣府令(平成21年3月24日 内閣府令第5号)の適用により、当第3四半期連結累計期間では、「少数株主損益調整前四半期純利益」の科目を表示しております。

### (4) 継続企業の前提に関する重要事象等の概要

該当事項はありません。

## 3. 四半期連結財務諸表

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	当第3四半期連結会計期間末 (平成23年6月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成22年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	1,893,821	3,750,615
受取手形及び売掛金	1,659,467	1,897,463
たな卸資産	1,306,126	821,366
その他	530,452	271,667
貸倒引当金	△5,635	△7,170
流動資産合計	5,384,232	6,733,943
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	561,613	518,092
機械装置及び運搬具(純額)	301,527	331,286
土地	1,827,880	1,763,696
その他(純額)	106,545	63,498
有形固定資産合計	2,797,566	2,676,573
無形固定資産		
のれん	1,191,002	—
その他	131,061	80,708
無形固定資産合計	1,322,064	80,708
投資その他の資産		
その他	1,053,355	769,211
貸倒引当金	△10,905	△21,512
投資その他の資産合計	1,042,450	747,698
固定資産合計	5,162,081	3,504,981
資産合計	10,546,314	10,238,924
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	737,086	847,109
未払法人税等	77,823	188,969
賞与引当金	233,753	368,813
役員賞与引当金	70,500	82,300
その他	781,521	308,677
流動負債合計	1,900,685	1,795,869
固定負債		
退職給付引当金	620,649	273,912
役員退職慰労引当金	219,829	195,016
その他	9,830	31,212
固定負債合計	850,309	500,142
負債合計	2,750,994	2,296,011

(単位：千円)

	当第3四半期連結会計期間末 (平成23年6月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成22年9月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	529,770	529,770
資本剰余金	443,430	443,430
利益剰余金	6,779,315	6,954,888
自己株式	△244	△127
株主資本合計	7,752,271	7,927,961
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	19,512	14,951
為替換算調整勘定	23,535	—
評価・換算差額等合計	43,048	14,951
純資産合計	7,795,319	7,942,913
負債純資産合計	10,546,314	10,238,924

(2) 四半期連結損益計算書  
【第3四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成21年10月1日 至平成22年6月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成22年10月1日 至平成23年6月30日)
売上高	7,611,437	8,062,865
売上原価	5,381,225	5,960,303
売上総利益	2,230,211	2,102,561
販売費及び一般管理費	1,539,673	2,071,279
営業利益	690,537	31,281
営業外収益		
受取利息	1,077	640
受取配当金	5,524	2,979
受取保険金	7,048	3,083
作業くず売却益	8,751	11,001
補助金収入	—	11,176
為替差益	—	11,086
その他	16,768	5,203
営業外収益合計	39,171	45,170
営業外費用		
支払利息	701	6,252
為替差損	1,788	—
その他	183	105
営業外費用合計	2,673	6,358
経常利益	727,036	70,093
特別利益		
固定資産売却益	866	—
退職給付制度改定益	56,891	—
貸倒引当金戻入額	2,638	4,826
特別利益合計	60,395	4,826
特別損失		
固定資産売却損	—	15,982
固定資産除却損	6,799	11,427
減損損失	45,909	—
関係会社出資金評価損	58,229	—
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	—	2,330
特別損失合計	110,938	29,739
税金等調整前四半期純利益	676,493	45,180
法人税、住民税及び事業税	324,911	259,922
法人税等調整額	47,247	△173,780
法人税等合計	372,159	86,141
少数株主損益調整前四半期純損失(△)	—	△40,960
四半期純利益又は四半期純損失(△)	304,334	△40,960

## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成21年10月1日 至平成22年6月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成22年10月1日 至平成23年6月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	676,493	45,180
減価償却費	172,689	163,853
のれん償却額	—	91,615
減損損失	45,909	—
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	—	2,330
退職給付引当金の増減額(△は減少)	△14,922	71,656
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△29,285	△13,175
賞与引当金の増減額(△は減少)	△177,224	△156,049
役員賞与引当金の増減額(△は減少)	△84,700	△24,600
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	18,562	24,812
受取利息及び受取配当金	△6,602	△3,620
支払利息	701	6,252
為替差損益(△は益)	1,745	42
固定資産売却損益(△は益)	△866	15,982
固定資産除却損	6,799	11,427
関係会社出資金評価損	58,229	—
売上債権の増減額(△は増加)	495,087	769,004
たな卸資産の増減額(△は増加)	△450,314	△380,711
仕入債務の増減額(△は減少)	△69,977	△226,400
その他	274,002	284,127
小計	916,328	681,728
利息及び配当金の受取額	6,602	3,476
利息の支払額	△25	△6,023
法人税等の還付額	29,506	2,809
法人税等の支払額	△702,170	△532,490
営業活動によるキャッシュ・フロー	250,241	149,500
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有形固定資産の取得による支出	△73,318	△132,096
有形固定資産の売却による収入	2,800	287,207
無形固定資産の取得による支出	△3,889	△37,014
投資有価証券の取得による支出	△1,117	△1,021
子会社出資金の取得による支出	△72,285	—
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出	—	△1,243,303
その他	2,106	3,529
投資活動によるキャッシュ・フロー	△145,705	△1,122,700
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
長期借入金の返済による支出	—	△758,000
自己株式の取得による支出	—	△117
配当金の支払額	△89,249	△134,190
その他	—	△2,361
財務活動によるキャッシュ・フロー	△89,249	△894,669
現金及び現金同等物に係る換算差額	△1,745	11,074
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	13,540	△1,856,794
現金及び現金同等物の期首残高	3,479,019	3,750,615
現金及び現金同等物の四半期末残高	3,492,559	1,893,821

## (4) 継続企業の前提に関する注記

当第3四半期連結累計期間(自 平成22年10月1日 至 平成23年6月30日)

該当事項はありません。

## (5) セグメント情報等

## 【事業の種類別セグメント情報】

前第3四半期連結累計期間(自 平成21年10月1日 至 平成22年6月30日)

	マーケティング 事業 (千円)	システム開発 事業 (千円)	計 (千円)	消去または全社 (千円)	連結 (千円)
売上高					
(1) 外部顧客に 対する売上高	6,560,040	1,051,396	7,611,437	—	7,611,437
(2) セグメント間の内部 売上高または振替高	9,159	63,114	72,274	(72,274)	—
計	6,569,200	1,114,510	7,683,711	(72,274)	7,611,437
営業利益	657,278	26,829	684,108	6,429	690,537

(注) 1 事業区分の方法

事業は、製品の系列及び市場の類似性を考慮して区分しております。

2 各区分に属する主要な製品

事業区分	主要な業務
マーケティング事業	インターナル・マーケティング (業務標準化や商品教育・販売教育・技術教育などの企画・運営) エクスターナル・マーケティング (消費者へ訴求する販売促進や広告宣伝、広報などの企画・運営) カスタマーサポート・マーケティング (使用説明書・修理書等の企画・編集・制作) トータルプリンティング (使用説明書・修理書等の印刷・製本)
システム開発事業	コンピュータソフトウェア開発、人材派遣

## 【所在地別セグメント情報】

前第3四半期連結累計期間(自 平成21年10月1日 至 平成22年6月30日)

全セグメントの売上高の合計に占める「日本」の割合が90%を超えているため、記載を省略しております。

## 【海外売上高】

前第3四半期連結累計期間(自 平成21年10月1日 至 平成22年6月30日)

海外売上高が連結売上高の10%未満であるため、記載を省略しております。

## 【セグメント情報】

(追加情報)

第1四半期連結会計期間より「セグメント情報等の開示に関する会計基準」(企業会計基準第17号平成21年3月27日)及び「セグメント情報等の開示に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第20号平成20年3月21日)を適用しております。

## 1 報告セグメントの概要

当社グループの報告セグメントは、当社の構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が、経営資源の配分決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当社グループは主に製品・サービス別に「マーケティング事業」及び「システム開発事業」の2つを報告セグメントとしております。

「マーケティング事業」は、主に使用説明書・修理書等の企画・編集・制作及び印刷・製本、業務標準化や商品教育・販売教育などの企画・運営、消費者に対する販売促進や広告宣伝・広報などの企画・運営等を行っております。「システム開発事業」は、コンピュータソフトウェア開発等を行っております。

## 2 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

当第3四半期連結累計期間(自平成22年10月1日至平成23年6月30日)

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額(注)1	四半期連結損益 計算書計上額 (注)2
	マーケティング 事業	システム開発 事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	7,040,281	1,022,583	8,062,865	—	8,062,865
セグメント間の内部売上高 または振替高	19,543	29,018	48,561	△48,561	—
計	7,059,825	1,051,601	8,111,426	△48,561	8,062,865
セグメント利益	104,286	18,817	123,103	△91,822	31,281

(注)1 セグメント利益の調整額△91,822千円には、セグメント間取引消去△206千円、のれんの償却額△91,615千円が含まれております。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

## 3 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

## (6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

当第3四半期連結累計期間(自平成22年10月1日至平成23年6月30日)

該当事項はありません。